

研究課題名	潰瘍性大腸炎患者における抗 TNF- α 抗体薬中止時の免疫調節薬併用と再燃率の検討
研究責任者名	広島大学大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2020年11月13日(倫理委員会承認後) ~2025年3月31日
対象者	2010年6月1日から2019年3月31日までに広島大学病院消化器・代謝内科で潰瘍性大腸炎による診断で、抗 TNF- α 抗体薬治療中止を実施した患者さん。
意義・目的	潰瘍性大腸炎の治療において抗 TNF- α 抗体薬 (レミケード [®] 、ヒュミラ [®] 、シンボニー [®]) は非常に有効な治療選択肢ですが、感染症などの有害事象のほか、長期投与に伴う発癌の可能性も危惧されます。また抗 TNF- α 抗体薬は非常に高価な薬剤です。抗 TNF- α 抗体薬の中止が可能な患者さんについて、免疫調節薬併用による再燃率の検討を目的として、本研究を実施いたします。

大腸炎において、抗 TNF- α 抗体薬の中止が可能かどうかに関する検討は、患者さんの安

共同研究機関

北里大学北里研究所病院
JCHO東京山手メディカルセンター
杏林大学医学部付属病院
京都大学大学院医学研究科
大阪大学医学部付属病院

名古屋市立大学に情報を集め名古屋市立大学（研究責任者 尾関 啓司）が解析します。

試料・情報の管理責任者

名古屋市立大学 消化器内科 尾関 啓司

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-5538

研究責任者：広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治

研究担当者：広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 大学院生 大西 佳菜

研究機関：広島大学